

令和4年度（2022）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

穴吹国際みらい専門学校

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校 学校関係者評価委員会は、令和4年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告いたします。

令和5年3月23日

学校法人穴吹学園 穴吹国際みらい専門学校
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて穴吹国際みらい専門学校の自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹国際みらい専門学校が行なった教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

辻 芳子	企業等委員	社会福祉法人 幸栄福祉会 幼保連携型認定こども園 草戸こども園 理事長・園長
高橋 知恵	企業等委員	(株)クリエイティブ・ワイソー
田島 建彦	高等学校関係委員	元高等学校校長
和田 愛加	卒業生代表委員	
松木 鈴	卒業生代表委員	

(学校教職員)

福田 稔	穴吹国際みらい専門学校	校長
信岡 誠三	穴吹国際みらい専門学校	統括副校長
壽福 英尚	穴吹国際みらい専門学校	副校長代理・教務部長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和5年3月23日(木) 18:30～20:00

開催場所 福山校入船校舎3階学生ラウンジ

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和4年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」、「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。

各評価項目について、「A」 十分である 「B」 おおむね十分である 「C」 やや不十分である
「D」 不十分である の4段階にて評価。

①資料確認

②教育理念、教育目標、教育方針について説明

③3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）について説明

④自己評価報告書

重点目標)

1. OC捕捉率39%、出願目標32名とし、入学目標である38名を達成する。
2. 担任と管理職が連携の上、学生、保護者とも早期に対応し、退学率3%未満を達成する。
3. 学科ごとに教育内容の更なる充実を図り、業界並びに地域社会から必要とされる人材を育成する。
4. 新しいことへ積極的に挑戦する一方、業務の効率化・見直しも進め、教育力と収益力を向上させる。

(目標達成のための具体的事業計画、行動計画)

1. 憧れの職業について体験授業を通して具体的にイメージさせることを常に意識し、将来像を明確にすることにより、入学目標である38名を達成する。
2. 問題学生については早期対応を心掛け、組織および保護者と適時情報を共有し、機を逸することなく指導を行うことにより、退学率3%未満を達成する。
3. 就職CC、留学生サポートセンターとこれまで以上に連携を密にし、日本人・留学生ともに2月末までに内定率100%、3月末までにビザ取得100%を達成する。

×項目の内容と改善点などについて主に報告

- ・5-11-a 資格、検定等不合格者に対する対策を講じていますか。

卒業後、担任レベルで支援・指導することはあるが、学校全体としての支援体制は整っていない。

- ・5-11-c 卒業生の能力向上のため、研修会等を行っていますか。

学校主催での研修会等は実施できていない。

- ・5-12-a 大学等卒業者の入学に際し、入学前の履修に関しての取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定していますか。

大学との単位互換がなく、学則・細則に規定できていない。

- ・5-12-b 教育訓練給付金対象の講座指定を受け、社会人入学生の学費軽減に努めていますか。

最短修業年限で資格を取得できる学科（こども保育学科）を廃止した為、教育訓練給付金認可条件を満たしていない。

- ・7-3-b 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付・専門実践教育訓練給付）を利用できるよう取組んでいますか。

最短修業年限で資格を取得できる学科（こども保育学科）を廃止した為、教育訓練給付金認可条件を満たしていない。

空欄となっている項目について

- ・10-4-b 県専各連合会の若年者職業意識涵養事業（県の委託事業）に積極的に参加していますか。
委託事業自体が実施されていないため空欄としている。

補足説明

- ・3-10 教員の能力向上に向けた取組みを行っていますか
動画教材に関する研修を受講し、教員それぞれが2～3分程度のオンデマンド教材を作成した。
- ・6-1 教育上、必要かつ、十分な種類・数の施設・設備が整備されていますか。
WI-FI アクセスポイントの増設、壁紙張替え、壁塗り替えを実施した。
次年度、屋上にて雨水侵入を防ぐための防水工事を行う予定。

（目標達成状況）

1. 入学目標
令和4年度 入学目標達成（令和5年度生）※募集停止した国際ホテルビジネス学科除く
2. 退学率目標
令和4年度 退学率目標達成
3. 就職目標
令和4年度 就職目標達成

（今後の課題・改善方策）

1. OCにおける体験内容のブラッシュアップと学科の魅力を訴求するプレゼン力の向上により入学目標である48名を達成する。
2. 年間を通じて一貫した信念のある指導を行い、信頼関係の構築と保護者との連携強化により、退学率3%未満を達成する。
3. 外部実習やインターンシップなどを有効活用し、業界内定を意識した進路指導により、日本人、留学生共に2月末までに内定率100%、3月末までにビザ取得100%を達成する。

5. 事業報告

①資料確認

②学生動向（入学生数、在籍生数、卒業生数、休・退学率 等）について報告

1. 学生数報告
年度当初82名、退学2名、休学0名、退学率2.4%、年度末での在校生数80名
2. 次年度学生数
出願30名、入学予定28名
コロナの影響により国内留学生数が減少し国際ホテルビジネス学科の募集を停止

新年度在校生数66名

こども未来教育学科 1年12名 2年16名 3年11名(こども福祉教育学科)

ブライダル・ホテル学科 1年生16名 2年生7名

国際ホテルビジネス学科 1年生0名 2年生4名

3. 令和4年度 就職活動について

卒業生数42名、就職希望者40名、内定者40名、就職希望者内定率100% 業界内定率95%

4. 令和4年度資格取得報告

各学科の主要資格・検定取得率について

- ・ こども福祉教育学科：保育士資格100% 幼稚園教諭2種免許100%
- ・ ホテル・ブライダル学科：ブライダルコーディネーター技能検定3級43%
- ・ 国際ホテルビジネス学科：日本語能力試験N3以上91%

③保護者アンケートについて

回収率97%

どの設問もA、B評価が8～9割を占めるが、一部D評価あり。

D項目：8. 学生に対する精神面のサポートが適切に行われている

近年心の病や発達障害など抱えた学生への対応に苦慮することが増加している印象。今年度は教職員研修として発達障害について学ぶ機会を設けた。精神面のサポートを充実させることが今後の課題。

○保護者意見

- ・ 使わない教科書が多いので改善してほしい。
- ・ コロナで中止になった体育祭や小規模になった文化祭、中止になった沖縄研修、プレシャスウェディングの節約された費用などを返してほしい。

6. 意見交換・質疑応答

・ ビザの取得状況は？

就職希望者11名中10名がビザを取得できている。残り1名については入国管理局より申請結果を待っている状況。

・ 7名の留学生が島根・鳥取の企業に就職しているのには理由があるのか？

求人開拓に中国地方を周った際に求人票を頂けた企業が島根・鳥取に多かったため。

・ ブライダルコーディネーター技能検定3級の合格者が少ない理由は？

学科試験は問題なく出来たが、実技試験（ビデオを視聴し答える問題）が出来なかった。ブライダル業界の実情に対する理解度が低く、応用力不足が理由として考えられる。

・ こども未来教育学科の入学者が少ない理由はどのようなことが考えられるか？

保育士を希望する人の減少。福山市においても子どもの数が減っている。

少子化の中、保育業界を目指す人を増やすことが課題となる。

- ・ 保育士になるには実習が不可欠となる。実習は一つの園にしか行けないが、ボランティアに行くなど色々な園を見てみることで、園の個性が自分に合うかどうか見極めることが大切。保育士という仕事を長く続け成長してもらいたい。

- ・保護者アンケートの内容は、必ずしも保護者が感じていることではなく、子どもや同級生から聞いたことの場合もある。アンケートに書かれていることを気にし過ぎてはいけない時もある。
- ・ブライダル・ホテル学科 保護者アンケート「⑩就職指導に関する体制が整備され、適切な指導が行なわれている」に対してC評価が50%となっているが、大きく就職リズムが崩れた学生がいたのか？
そのような学生はいなかった。
コロナによる求人不足もあり、保護者が希望したような企業が内定先とならなかったこともC評価につながった一つの要因と考えられる。
- ・来年度就職について、ホテル業界では新卒採用よりも中途採用に力を入れており、即戦力が求められている。

貴重なご意見を賜り誠にありがとうございました。これからも皆様のご期待に添えますよう、教職員一同、日々努力してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

以 上